

NEST ロボコン 2022・レスキュー競技（日本リーグ）

ルールブック Ver. 1.1

【競技紹介】

NEST ロボコン 2022・レスキュー競技（日本リーグ）は、ロボカップジュニアジャパン¹・日本リーグ・レスキューの競技ルールを元にした自律型ロボット競技です。今大会は、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分におこなったうえで、対面形式で実施する予定です。

A) 適用ルール（ベースルール）

1. 下記ルールを適用し、ベースルールとします。
 - ロボカップジュニア 日本リーグ レスキュールール 2022²
2. ただし、いくつかのローカルルールを適用します。

B) ローカルルール（ベースルールとの変更点）

- ※ 大会名等、細かな違いについては省略します。
- ※ 括弧内の番号は関連するベースルールの章.節.項の番号です。

1. 行動規範

- ベースルールとの大きな変更はありません。
- ルールは更新されることがあります。最新のルール・大会情報は、NEST ロボコンの Web サイト³を確認してください。

2. フィールド

- (2.2.3) 傾斜路はありません。
- (2.5.1-2) 減速バンプと瓦礫は設置されません。

3. ロボット

- 変更はありません

4. 競技

- (4.3.1) 競技時間は 8 分より短くなる可能性があります（競技スケジュールが決定次第、参加者にアナウンスする予定です）。
- (4.6.4) 被災者の発見は、ロボットが発見した被災者の上(ロボットと被災者が一部分)

¹ <https://www.robocupjunior.jp/>

² https://drive.google.com/file/d/1bjoNF_jOcQ0M4QSeDRKg0GmDSSI9gxAO/view

³ <http://www.npo-nest.org/workshop/robocon/index.html>

上重なっている状態)で表 1 の被災者発見のパフォーマンスを行うことで認められます⁴。

表 1：被災者発見パフォーマンス

緑色の被災者	黒色の被災者
完全に停止し、以下のパフォーマンスを行う（5 秒間）	
EV3 本体のステータスライト「緑」を 0.5 秒間隔で点滅	EV3 本体のステータスライト「オレンジ」を 1 秒間隔で点滅

- (4.6.7) 脱出得点は、ロボットが被災者を 1 体以上発見した後、表 2 のパフォーマンスを行なった場合に与えられます。

表 2：脱出パフォーマンス

避難ゾーンの外のフィールドで停止し、以下のパフォーマンスを行う
EV3 本体のステータスライト「赤」を 5 秒間点灯し続け、その後消灯する。

- EV3 以外のハードウェアを用いる際のパフォーマンス方法に関しては、予め大会本部までお問い合わせ下さい。
- (4.7) 競技の終了は下記の場合とします。
 - A) 競技時間が終了した場合
 - B) 脱出のパフォーマンス(表 2)を行った後（被災者を 1 体も発見していない場合でも）

5. 技術評価（インタビュー）

- エンジニアリングジャーナル（作業記録）の提出は必要ありません。
- 競技の前後に簡単なインタビューを行う予定です。

6. 問題が発生した場合の対処

- 大きな変更はありません。

C) その他

1. 競技参加資格

- メンバーの年齢：大会開催時に中学生以下であること
- チームメンバー数：1-2 名
- 過去にロボカップジュニア 日本リーグ レスキューに参加し、ジャパンオープン・日本大会に出場したことのあるチームは、ワールドリーグへの参加を推奨します。

⁴ 審判が判定しやすいようにするため、被災者の色毎に点滅させるステータスライトの色を指定します（脱出についても同様）。被災者発見と脱出のパフォーマンス時以外はステータスライトを消灯しておくこと。

2. 提出物（プレゼンテーションポスター）

- チームは、プレゼンテーションポスター（A3 縦・PDF 形式）の提出が義務付けられます。プレゼンテーションポスターの提出期限は競技実施日の 1 週間前を目安とします（具体的な日時と提出方法は、決定次第、参加チームにアナウンスします）
- 優秀なプレゼンテーションポスターを制作したチームには、ベストプレゼンテーション賞が授与されます。

3. 順位・表彰

- 得点と競技時間が同じ場合は、競技進行停止数が少ないチームが高い順位となります（競技進行の停止数も同じ場合は同点とします）。
- 優勝・準優勝・第 3 位のチームを表彰します（ただし、参加チーム数によっては、表彰チーム数を減らす可能性があります）。
- ベストプレゼンテーション賞を受賞したチームを表彰します。